



IEEE Tokyo Section Life Members Affinity Group

先般の東日本大震災に遭われた会員およびご関係の皆様にご心からお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復興をお祈りいたします。

本号では2011年度 第1回 東京支部 LMAG 講演会についてご報告をいたします。LMAG では東京支部 Technical Program Committee と連携して、今後も経験豊かな Life Member を中心に講演会を企画いたしますので、Life Member はもちろん支部会員の皆様どうぞ積極的にご参加ください。

目次	ページ
Chair ご挨拶	1
第1回東京支部 LMAG 講演会 開催報告	1
次回のイベント情報	2

Newsletter in English is also available in LMAG-Tokyo site.

Chair ご挨拶

IEEE 東京支部 Life Members Affinity Group では、2011年3月11日の東日本大震災当日に行われた本年度総会のあと、関係各位のご協力のもとに準備を重ね、5月31日に IEEE 東京支部 Technical Program Committee との共催による第1回講演会を開催いたしました。

講師に昨年 LMAG 会員になられた富田修二氏(itSMF JAPAN)を迎え、「グローバルマネージドデータネットワークサービスの最新状況— 日本と欧州サービスプロバイダを参照して」と題するお話を聞いた後、ミニパネル討論を行いました。LMAG の目指す「経験豊かなライフメンバーの更なる能力向上、社会貢献、相互交流などを通じて会員の便益向上をはかる」ために、一歩を踏み出したことと喜んでおります。

今後とも、ライフメンバー相互のみならず若い会員ともども世代を超えて交流し未来に向けて学問・技術の発展、さらには人類の幸福・繁栄に貢献できる機会を設けられればと願っています。引き続き、メンバーの皆様方の積極的なご支援・ご貢献で所期の目的が達成できることを願っております。

IEEE Tokyo Section Life Members Affinity Group
Chair 葉原 耕平

第1回講演会 開催報告

2011年度 第1回 東京支部 LMAG 講演会が5月31日(火)午後2時30分から、青学会館 IVY HALL にて開催されました。53名の参加者がありました。

講師 富田修二氏(itSMF JAPAN、LMAG メンバー)
演題 「グローバルマネージドデータネットワークサービスの最新状況— 日本と欧州サービスプロバイダを参照して、NTT コミュニケーションズとオレンジ ビジネス サービス—」
司会 高村誠之氏(Technical Program Committee Chair)



講師: 富田 修二氏



司会: IEEE 東京支部 Technical Program Committee
Chair 高村誠之氏

概要

グローバルスケールのマネージドデータネットワークはグローバル企業にとって重要なインフラであるが、その歴史は70年代のデジタル交換機の研究開発にさかのぼる。講演者はパケット技術に優れていたフランステレコム研究所(当時 CNET)に滞在し、初期のデータ交換機の開発に関して交流した経験を持つ。それ以来、日本および欧米でマネージドデータネットワークの導入が進み、2000年代以降はインターネット関連サービス、データセンタ間ネットワークなどがグローバルネットワークオペレータと各地域のオペレータの連携のもとで構築されている。

日本のマネージドデータネットワークは中継網もアクセス網もブロードバンド化で世界をリードしているので、日本のオペレータは日本国内にとどまらず、今後発展の期待できるアジアに一層貢献し、ICTソリューションサービスの提供者となるべきである。一例として NTT コミュニケーションズ社では150カ国とビジネスパートナーとなり20カ国のデータセンタをマネージしている。お客さまにとって見ると、日本国内で同社と契約すれば、ネットワークの反対側のオペレータがどこであっても一貫したサービスが受けられる。災害からのリカバリについてもパートナー・オペレータとの密接な連携で解決している。具体的な海外連携の例として、フランステレコム傘下のオレンジビジネスサービス社とNTTコミュニケーションズは長年の連携実績がある。

最近の傾向としては、ネットワークを所有することから必要に応じて(オンデマンド)ネットワークリソースをサービスとして利用する方向にある。さらにモノとモノがネットワークで結ばれる Connected society が一層進むもの考える。

ミニパネル討論

この後、葉原 Chair と持田 Secretary を加えたミニパネル討論および質疑応答を行った。葉原 Chair からは、上記の進歩の背景にある電気通信技術と経営形態の変遷について、テレコムの経営自身が民営化により変革するとともに、新しいインターネットの世界により大きく影響を受けている状況が語られ、さらに持田セクレタリからはフランステレコムが国際化とマルチメディア化とともにブランド名を“オレンジ”に変えつつある実態が説明され、さらに質疑応答が行われた。



(左から)講師: 富田修二氏、パネリスト: 東京支部 LMAG Secretary 持田侑宏氏、司会: 東京支部 LMAG Chair 葉原耕平氏

次回のイベント情報

講演会

現在計画中ですので、決まり次第、皆様にご案内致します。

**IEEE Tokyo Section Life Members Affinity Group
Newsletter 2011年7月25日発行 第3号**
発行: IEEE 東京支部 Life Members Affinity Group
〒105-0003
東京都港区西新橋 3-6-2 西新橋企画ビル 8階
URL: <http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/lmag/index.htm>
E-Mail: tokyosec@ieee-jp.org